



プラスチック対策の推進に係る取組について

令和6年3月21日
プラスチック対策検討会

1. 概要

プラスチック対策検討会では、令和2年4月の設置以降、プラスチック対策（プラスチック代替品の開発支援・普及促進、プラスチックごみ散乱・流出抑制等）について、関西広域での取組を進め、地域創生につなげることを目的として、以下の取組を行いました。

2. 主な取組内容

- (ア) プラスチック代替品の普及およびプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進
 - (イ) プラスチック対策プラットフォームの開催
- ※別紙参照

(1)プラスチック代替品の普及およびプラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進

①プラスチック代替品の普及に係る取組の促進について

令和5年度は、令和2年度から令和4年度にかけて実施したプラスチック代替品の普及可能性調査の成果（プラスチック代替品の普及に向けた取組事例や課題への対応策などを盛り込んだ情報集）を活用し、プラスチック以外の素材・生分解性素材・バイオマス活用素材を使用した製品の普及に係る事業者や自治体の取組を促進するため、情報集を更新し、構成府県市や事業者向けの研修会を開催しました。

プラスチック代替情報オンライン研修会 令和6年1月24日(水)

参加者数：42名

講師：

「資源循環を目指すプラスチックの最近の動向について
～産学官連携の取組み」（大阪大学大学院工学研究科
応用化学専攻 教授 宇山 浩氏）

「宿泊業界に見るサステナブルな施設経営」

(Good Nature Hotel KYOTO 総支配人 北田 萌子氏)

「プラスチック代替素材製品の普及に向けた情報集について」
(みずほりサーチ&テクノロジーズ 渡邊 絵里子氏)

「大阪府におけるバイオプラスチックビジネス推進に向けた
取組みについて」

(大阪府商工労働部成長産業振興室産業創造課 課長補佐 加賀城 直哉氏)



②プラスチックごみ散乱状況把握に係る取組の促進について

令和5年度は、令和2年度から令和4年度にかけて実施したプラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査の成果（プラスチックごみ散乱状況推計モデル及び利活用マニュアル）を活用し、陸域の散乱ごみの削減に係る自治体等の取組を促進するため、マニュアルを更新し、構成府県市や事業者向けの研修会を開催しました。

プラごみ散乱状況推計モデル利活用にかかるオンライン研修会 令和5年11月28日(火)

参加者数：37名

講師：

「プラスチックごみ散乱状況推計モデルの利活用及び
推計結果可視化ツールの使用方法について」

みずほりサーチ&テクノロジーズ

コンサルティング推進部 渡邊 絵里子氏

情報通信研究部 土屋 美恵氏

情報通信研究部 井上 敬介氏



また、「いのち育む”水”のつながりプロジェクト」の一環として、「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーである「ごみゼロ共創ネットワーク」と令和5年11月26日(日)、11月28日(火)、令和6年3月3日(日)に清掃活動を実施しました。



(2)プラスチック対策プラットフォームの開催

関西広域でのプラスチック対策（プラスチック代替品の開発支援・普及促進、プラスチックごみ散乱・流出抑制等）の取組を進め、地域創生につなげることを目的として、令和5年度は「プラスチック対策プラットフォーム」を3回開催し、意見交換や情報の共有を行いました。

プラットフォームメンバー

関西広域連合構成府県市、（一社）全国清涼飲料連合会、（一社）日本フランチャイズチェーン協会、PET ボトルリサイクル推進協議会、日本チェーンストア協会関西支部

第1回会議 令和5年11月28日(火)

参加者数：44名

主なプログラム：

1. 講演

「環境中に流出するマイクロプラスチックに関する環境省の対応」

「瀬戸内海プラスチック対策ネットワークについて」

（環境省水・大気環境局海洋プラスチック汚染対策室長 藤井 好太郎 氏）

2. 事例発表

「河川マイクロプラスチック調査について」（京都市環境政策局環境企画部環境指導課 担当係長 木上 喜博氏）

「人工芝流出対策について」（一般社団法人ピリカ コンサルティング事業部 益田 明奈氏）

第2回会議(関西プラスチックごみゼロ・食品ロス削減シンポジウム) 令和5年12月22日(金)

(※広域環境保全局と共催しオンライン配信)

参加者数：43名

主なプログラム：

1. 基調講演

「めざせ！ごみゼロ」（総合地球環境学研究所 教授 浅利 美鈴 氏）

2. 事例発表「プラスチックごみ削減と食品ロス削減のライフスタイル転換に向けた取組み」

「京都発フェアトレードブランドのアパレル・ゼロ・ウェイストとは」（有限会社シサム工房）

「大阪・関西万博の直近の準備状況および資源循環に関する検討状況」（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会）

「関西広域連合 プラスチック対策の推進」（関西広域連合プラスチック対策検討会）

3. パネルディスカッション「ライフスタイルの転換を促すために必要なこと」

コーディネーター：総合地球環境学研究所 教授 浅利 美鈴 氏

パネリスト：シサム工房、関西広域連合プラスチック対策検討会、学生2名

第3回会議 令和6年3月5日(火)

参加者数：19名

主なプログラム：

1. 構成団体の情報共有

「各府県の令和6年度プラスチックごみ流入量調査の予定について」

「各府県の令和6年度プラスチックごみの排出抑制事業の予定について」

「令和5年度プラスチック対策検討会事業について」